

人と自然の博物館の収蔵庫

人と自然の博物館では特色ある質の高い資料を収集することを目指し、コレクションの受け入れや館員による収集など、積極的な活動が行われています。収集された資料は、整理・登録され、収蔵庫で保管され、研究や展示などに活用されています。

1階 地学系収蔵庫

地学系収蔵庫には大小さまざまな岩石、鉱物、化石などの標本類の他、阪神・淡路大震災の後、地盤調査のために行われたボーリングのコアが保管されています。
主な収蔵資料：岩石・堆積物 約44,000点、 鉱物 約1,700点、
化石 約30,000点、 ボーリング資料 約2,000点



ジュラ紀のカサザメ



ガーネット



ボーリングコアが置かれた標本棚

液浸収蔵庫

液浸収蔵庫では、主に魚や水生昆虫などの水生生物をホルマリン等の液体に浸して保存しています。水生生物以外にも、一部の哺乳類や両生爬虫類、陸上昆虫類、あるいは各種生物の解剖標本も同様に保存しています。ただし、貝類の貝殻については、乾燥させた状態で保存しています。



液浸標本などが置かれている標本棚



ゴウシュウイタヤガイ

主な収蔵資料：

魚類 約 3,000点
海産無脊椎動物 約 1,700点
貝類 約10,000点 など

種子保存収蔵庫

兵庫県内を中心とした野生植物の種子が約1,700点収蔵されています。その中には絶滅危惧植物の種子も含まれています。



種子資料の標本棚



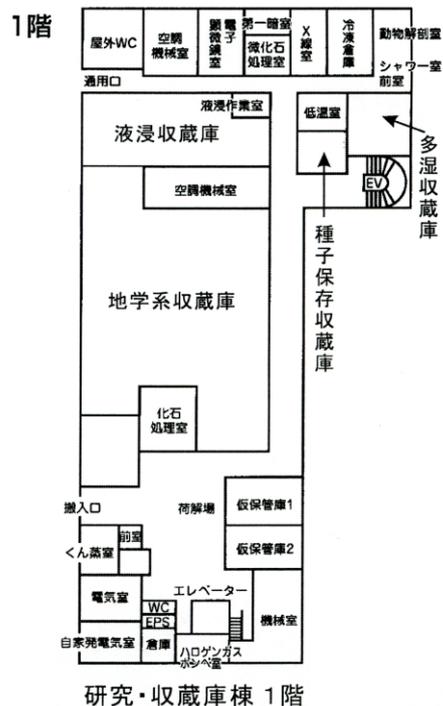
真空パックに収められている種子標本

多湿収蔵庫

多湿収蔵庫では木材標本が約15,000点収蔵されています。



木材標本が整然と並べられた多湿収蔵庫



2階

生物系収蔵庫

人と自然の博物館最大の収蔵庫で、昆虫・植物・鳥類・哺乳類などの標本が収蔵されています。この収蔵庫は温度や湿度を一定に保つため、総木張りになっています。

主な収蔵資料：昆虫 約880,000点、植物 約290,000点
哺乳類 約 370点、鳥類 約 17,000点 など

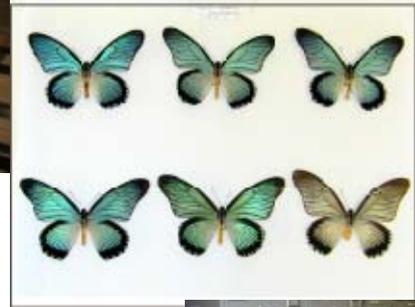


さく葉標本の標本棚



昆虫の標本棚

江田コレクションのチョウ



さく葉標本



小林コレクションの鳥類標本



鳥類資料の標本棚

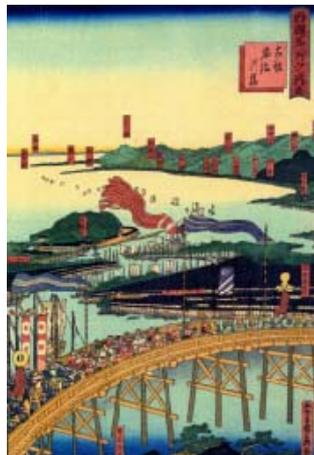
環境系収蔵庫

環境系収蔵庫では、古地図や古絵図などを含め、暮らしの記録や生活空間デザインに関するさまざまな資料を収集しています。

主な収蔵資料：
古絵図・古地図 約 2,400点
映像・画像資料 約 2,400点
書籍 約 3,200点



書籍類の収蔵状況



西国名所図会・安治川橋

